

## ふるさとを検証

ふるさと探検隊（尾原）

8月10日、中津川尾原集落で県主催によるふるさと探検隊が開催されました。

このふるさと探検隊は、いつも見慣れている場所をみんなと一緒に地図を持って「良いところ」「や」「悪いところ」を点検し今後に生かす目的で開催され、当日は約100名の参加者がありました。

参加者たちは3つのコースに分かれて早速点検を開始。途中、道路の現状を見ながら「見通しが悪く、事故が起きてもおかしくない。なんとかならないだろうか？」また、尾原公民館では、建設時の話を聴きながら「公民館が古くなっている。修繕や建て直しなどはできないか？」などといった声が聞かれました。

集落点検は1時間ほどで激しい雨にみまわれ予定より早く終わりましたが、その後中津川小学校の体育館で点検項目をまとめてふるさと探検マップを作成しました。

県では、この結果を持ち帰って、問題点を改善検討していく予定です。

子どもたちも一緒に点検



## 消火完了しました！

### 薩摩支部消防操法大会

8月11日、県消防協会薩摩支部消防操法大会が、本町の総合運動公園駐車場で開催されました。

大会は消防団員の技術向上などを目的に開催されているもので、川薩地区から20チームが参加し、日頃の成果を披露しました。

本町からは、小型ポンプの部に中津川分団第二部（山口育男・半崎幹男・木下好司・永江正伸）自動車ポンプの部に中津川分団第一部（江藤繁隆・福丸勝利・佐藤秀樹・外川内真吾・堂園竜也）が出場。機敏な動きと見事なチームワークで会場からも大きな拍手が湧き上がりました。

成績は小型ポンプの部が第7位、自動車ポンプの部が第2位と健闘しました。（敬称は省略しました）



▲ポンプ車の部で操法を披露（中津川分団第一部）

## みんなと一緒に勉強

### 黒鳥親子会

7月31日、黒鳥公民館で共同学習会が開催されました。

この共同学習会は毎年出校日前に、午前8時から2時間、学校の宿題など互いに分からないところを教えあうもので、30年以上続く伝統行事。今回は、中学校の野球部の生徒13名も参加し、涼しい朝のうちに勉強に動きました。

参加した上園愛花さんは「中学生に教えてもらって勉強もはかどります。おやつの



アイスクリームも楽しみます。」と話していました。

## 将来に活かして

入来商業高校では、7月2日から5日まで職業体験学習が実施され、2年生で本町の出身者4名が役場やパーク観音滝、さつま特産品直売所など町内での実習に臨みました。最初は慣れない作業でとまどいもあったようですが、実習も終わりに近づくにつれ、ぶん手際よく仕事を進められるようになりました。

今回の実習に参加した平川沙織さんは「永野保育所での実習が印象に残りました。将来は学んでいるパソコンを活かせるような職に付きたい。」と話していました。



▲さつま特産品直売所での実習の様子